

～職場の熱中症対策、6月1日から罰則付き義務化～

食品工場でもオフィスでも 冷やした「旨味豊かな昆布だし」で対策 暑い夏の水分補給にちょうどいい“だしを飲む習慣”をご提案

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に約180店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2025年6月1日（日）、職場の熱中症対策が罰則付き義務化となることに合わせて、各種設備対策、従業員教育に加え、食品製造工場をはじめスタッフの水分補給に、冷やした「旨味豊かな昆布だし」を活用しています。



工場・オフィスでも水分補給にちょうどいい。冷やした「旨味豊かな昆布だし」

当社では今年から、従業員の水分補給に関して新しい取り組みを始めました。当社が運営するブランド「久世福商店」で販売している「旨味豊かな昆布だし」を水出しし、冷やして飲むことで、夏の水分補給にちょうどいいといわれているナトリウムなどを摂取しようという取り組みです。

近年、「だし」をお料理に使うのではなくそのまま飲む方が増えてきています。昨年の夏、久世福商店のロングセラーである「旨味豊かな昆布だし」が前年比2倍の売り上げとなりました。冷やして飲む昆布だしとして訴求したところ、多くのお客様に「おいしく水分・ナトリウムを取り入れることができる」とお喜びいただき売り上げにつながりました。

そこで今年は、すでに5月から製造現場やオフィスで冷やした「旨味豊かな昆布だし」を水分補給に使用できるよう支給し、従業員の暑さ対策に役立てています。当社スタッフ自身が冷やした「旨味豊かな昆布だし」での水分補給を体感したうえで、お客様に水分補給の新しい選択肢をご提案いたします。

サンクゼールの熱中症対策

当社は、全社員に熱中症予防と熱中症発症時の行動指針を示す等して対策の周知を徹底し、必要に応じて熱中症対策品を支給しています。また、最も気温が高くなりやすい食品製造工場においては、労働時間として水分補給休憩を設けるなど、水分をとる意識づけを行っています。加えて作業場にティーサーバー、冷風スポットを増やすなど、環境整備に取り組んでいます。

ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しく願い申し上げます。